

第2回「サザエさん通り」構想検討会

日時：平成25年11月7日（木）午前10時～12時

場所：早良区役所 2階 中会議室

次 第

1. 開会あいさつ 早良区長 井上 るみ

2. 報 告

報告1. 「サザエさん通り」構想検討会設置要綱について

報告2. 「サザエさん通り」を生かしたまちづくりワークショップについて

3. 議 事

議題1. 「サザエさん通り」構想（案）について

早良区「サザエさん通り」構想検討会委員等名簿

(敬称略、五十音順)

職	氏 名	ふりがな	所属職名	備考
顧問	川口 淳二	かわぐち じゅんじ	長谷川町子美術館館長	
委員	森田 昌嗣	もりた よしつぐ	九州大学大学院教授	会長
委員	G. W. バークレー	G. W. ばーくれー	西南学院大学学長	副会長
委員	井上 るみ	いのうえ るみ	早良区役所区長	
委員	内田 重光	うちだ しげみつ	西新校区自治協議会会長	
委員	小山 芳勝	おやま よしかつ	福岡市博物館副館長	
委員	岸川 哲也	きしかわ てつや	福岡商工会議所西センター センター長	
委員	久池井 良人	くちい よしと	福岡市総合図書館館長	
委員	佐藤 幸市	さとう こういち	百道校区自治協議会会長	
委員	柴崎 正廣	しばさき まさひろ	百道浜校区自治協議会会長	
委員	都合 雅彦	とごう まさひこ	テレビ西日本取締役事業局長	
委員	鳥巢 勲	とりす いさお	西新発展協議会会長	
委員	皆川 晴克	みながわ はるよし	高取校区自治協議会会長	
委員	矢賀部 雄二	やかべ ゆうじ	高取商店街振興組合理事長	
委員	吉武 勝美	よしたけ かつみ	サザエさんの会会長	

「サザエさん通り」構想検討会設置要綱

(名称)

第 1 条 本会は、「サザエさん通り」構想検討会（以下、「検討会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 早良区では、福岡市における故長谷川町子氏の足跡を残しこれを末永く伝えるとともに、地域の活性化のために「サザエさん通り」を活用することとしている。検討会では、この「サザエさん通り」を生かしたまちづくりを推進するため、地域と行政の共働で取り組むまちづくりの具体的なビジョンを取りまとめる「サザエさん通り」構想の内容等について検討する。

(所掌事務)

第 3 条 検討会の所掌事項は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 「サザエさん通り」構想検討に係る事項
- (2) その他、「サザエさん通り」構想検討に関し必要と認める事項

(構成員及び組織)

第 4 条 検討会は、別紙に掲げる委員をもって構成する。

- 2 検討会の円滑な運営を図るため、会長及び副会長を各 1 名置く。
- 3 会長及び副会長は互選により選出する。
- 4 検討会へのアドバイスを求めるため委員のほかに顧問を置く。
- 5 委員の任期は、平成 25 年 12 月 27 日までとする。

(検討会)

第 5 条 検討会の会議は、会長が必要と認めたときに招集し、会長が会議の進行にあたる。

- 2 会長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明またはその意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第 6 条 会議は原則公開とする。ただし、会議における審議の内容が、福岡市情報公開条例第 7 号各号に掲げる情報（非公開情報）に関するものであるとき、又は、会議を公開することにより、当該会議の適正な運営に著しい支障が生じると認められるときは、この限りでない。

- 2 会議の傍聴に係る手続きその他傍聴に関して必要な事項は、別に定める。

(議事録)

第 7 条 会議の議事録は、会議の議題又は論点ごとの審議経過を明らかにした要点筆記とする。

- 2 議事録は、会議に出席した委員の承認を得て確定し、福岡市情報公開条例第 7 条各号にある非公開情報の部分を除き原則公開する。

(事務局)

第 8 条 検討会の事務局は、福岡市早良区区政推進部企画課に置く。

(雑則)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に必要な事項は、事務局が会長と協議の上、定める。

附則

この要綱は平成 2 5 年 9 月 1 日から施行する。

附則

この要綱は平成 2 5 年 1 0 月 2 4 日から施行する。

13. 参考資料

13-1. 「サザエさん通り」まちづくりワークショップ（若者）まとめ

未来(時間軸)を 視野に入れたまちづくり

(9月29日(日)実施 小学5年生～大学生 19名参加)

●若者ワークショップから出た主な意見

ソフト にぎわいを 継続させる

- 毎年の開催日(サザエさんの日など)を決め、イベントを実施。毎回内容を変え、にぎわいを継続させる。
- 施設や店舗の営業時間に着目し、営業時間延長等まち全体ににぎわいをつなげる工夫を行う。
- タワーのイルミネーションにサザエさんを登場させる。
- 校区ごとで行っている行事を地域みんなで楽しめるようなイベントにする。

- ・地域の祭りやイベント：夏祭りの範囲拡大、サザエさん花火、サザエさんの日を決めてパレード・お祭り
- ・海関連のイベント：百道浜小の地引網を地域の人々で楽しむ
- ・歩くイベント：ウォークラリー・スランブラリー、クイズラリーなど
- ・コンクール・コンテスト：サザエさん検定、サザエさん踊りコンテスト
- ・その他イベント：桜まつり、図書館でサザエさんフェスタ
- ・日常の活動：清掃活動、花を植える、サザエさん通りにまつわるボランティア活動

ハード 時代や季節を 考慮する

- 過去と現在、未来の時系列で行う整備計画。サザエさんゴミ箱設置など環境先進ストリートをめざす。
- サザエさん通りの認知度を高めるための整備が必要(アーチや銅像など)。
- 学校の授業や活動と協働した事業(季節を感じる花壇設置など)。
- 既存施設を利用したサザエさんコーナーの設置。(図書館・博物館など)

- ・サザエさん一家のモニュメント：銅像、通り入口にアーチ
- ・拠点づくり：サザエさんショップ・カフェ、サザエさんハウスなど
- ・サザエさんコーナーの設置：福岡タワー、図書館、博物館、TNC会館、マリゾン、ヤフオクドーム、商店街、プラリバ等
- ・ストリートファニチャーの整備：ベンチ、歩道、マンホール蓋等にキャラクター
- ・通りのサイン等の整備：サザエさん通り〇〇mの標識、サザエさんの歴史の掲示、四コマ漫画の設置
- ・サザエさん考案当時の比較ができる整備：昔の海岸線を再現、写真や解説の看板、海の生き物の看板
- ・信号機音声誘導などにサザエさんの音楽を使う

広報その他 認知度を 高める

- 地域資源(高取焼など)を使ったPR。ご当地アイドルによるPRなど。
- 名物をつくるなど、地元の企業等とタイアップしたPR活動。
- SNS、CM、パンフレットなどを媒体としたPR。
- 子どもにも知ってもらえる工夫(歴史の教科書に記載等)

- ・通りイラスト・グッズ展開：自販機、ドリンク、バス、ゴミ箱、高取焼、Tシャツ、お菓子等にサザエさん
- ・通りPR：タワーイルミネーション、SNS、サザエさんレンタサイクル、ホームページ立ち上げ、CM作成
- ・通り案内マップ、パンフレット等の作成
- ・ホークスの試合での着ぐるみを登場させる。ホークスメガホンにサザエさん一家、他の有名なキャラクターとコラボ
- ・「サザドル」(アイドルみたいなもの)をつくる、案内するボランティア募集、ロボットアイドルがサザエさん通りを案内
- ・学校の歴史の教科書にサザエさんのことを記載

●若者ワークショップ意見のまとめ

グループ	テーマ	代表的なアイデア
「遊」	サザエさん通りをPRするには？	・名物をつくる(料理・地域資源を活用したグッズ) ・拠点をつくる(通りのインフォメーション・グッズの販売) ・イベントを開く(既存施設との共働、地元球団との共働) ・通りのPR(自販機やドリンクにキャラクターを使用、WEBの活用)
「学」	「これまでのサザエさんとこれからのサザエさん」	・サザエさんが生まれた時代を伝える(当時の写真を設置、教科書への掲載) ・未来を視野に入れた現在のまちづくり(サザエさんゴミ箱を設置など) ・環境先進ストリートを目指した取組(四季を感じる花壇、定期的なイベント)
「交」	にぎやかさが継続する色とりどりのサザエさん通り	・通りを知ってもらい(広報・清掃活動・お店の利便性向上(営業時間)) ・コーナー・グッズ(サザエさんコーナーを散在させる) ・憩いの場の設置(ベンチ設置、サザエさんの標語を通りに設置) ・イベント・祭(記念日をつくり、祭を行う。内容を更新し、継続するイベント)

13-2. 「サザエさん通り」まちづくりワークショップ(一般)まとめ

にぎわいをまち全体へ
面的にひろげるまちづくり

(10月16日(水)実施 20代~80代 40名参加)

●一般ワークショップから出た主な意見(括弧内は関連・類似した意見数)

ソフト
にぎわいを
継続し
ひろげる

- 通りから離れている周辺校区を巻き込んだ活動が必要。(早良区全体で行う早良マンスなど)
- 2016年に周年行事が集中(西南学院100周年、サザエさん誕生70周年等)、イベントを盛大に行う。
- バスや同時多発イベントでサザエさん通りを軸として回遊性を高める。(商店街や地域資源を生かして)
- 朝市、物産市を継続的に行う。
- ・地域の祭りやイベントにサザエさん一家が参加(8)
- ・海関連のイベント：海産物市・砂の彫刻・スケッチ大会・生物調査・宝探し(7)
- ・ウォークラリー・スタンブラリーなど歩いて地域を知るイベント(7)
- ・海産物等の名物メニュー考案・グルメ大会(4)
- ・コンクール・コンテスト：サザエさん川柳、サザエさん検定、似顔絵、歌振り付け(4)
- ・その他イベント：市民サザエさん展、季節のテーマイベント、桜まつり他(8)
- ・日常の活動：清掃活動、花いっぱい運動、あいさつ運動、マナー教室他(12)

ハード
誰にも分かる
シンボル
つくる

- サザエさん通りの認知度を高めるための整備が必要(アーチや銅像、サイン、街灯、ベンチなど)。
- 多世代・多国籍の人達に伝わる広報・サイン(多言語表記等)
- 始点、終点、曲がり角の広場を整備し、シンボル化する。
- 通りの空きスペースを活用した広場(長谷川町子の旧住居跡地をイベント広場に)など。
- ・サザエさん一家のモニュメント・銅像(15)
- ・始点、終点、曲がり角等のサイン、案内板(10)
- ・歩道の整備(カラー舗装等)(8)
- ・信号機音声誘導などにサザエさんの音楽を使う(7)
- ・ストリートファニチャーの整備(サザエさんと座れるベンチ、街路灯、マンホール蓋等にキャラクター)(4)
- ・サザエさん文庫、マンガ館(4)
- ・サザエさん考案当時の写真等を用いたサイン・モニュメント(3)
- ・長谷川町子氏住居の再現・長谷川町子美術館(3)
- ・その他ハード整備：イベント会場、映画館(2)

広報その他
認知度を
高める

- サザエさん通りと周辺のマップをつくる。
- 公民館だよりなどにキャラクターを使用。
- 今あるグッズを活用し、印象づける。
- iPad等を活用したバーチャル地域案内(福岡城のような)
- ・サザエさんイラスト・グッズ展開：公民館だより、缶バッジ、フラッグ等(13)
- ・通りPR：早良マンス、タワーイルミネーション、SNS、サザエさんレンタサイクル、通りネーミング等(10)
- ・通りマップ：サザエさんが案内するマップ、四カ国語表記(3)
- ・ヤフオクドームへの展示コーナー、ホークス試合での着ぐるみ使用(2)
- ・サザエさん饅頭(2)

●一般ワークショップ意見のまとめ

時期 グループ	短期(今~3年) すぐにやりたい	中期(4~6年) 少し準備してやりたい	長期(6年~) しっかり準備してやりたい
遊ぶ1	イベント グッズ 資金づくりに募金	重要なところから ハード整備開始	ハード整備 継続
遊ぶ2	グッズ	周年事業×イベントを立ち上げ 2016年サザエさん70歳 西南学院100周年目標に!	ハード整備 助け合い・回遊性 ×海(イイトーン) ×高取境・紅葉八幡宮(バス通)・トーン ×西南学院周辺(文化ゾーン)
学ぶ1	イベント PR・コンクール 商店街と連携	他世代・多国籍間 交流	ハード整備 多言語案内マップ・広報 継続
学ぶ2	清掃・挨拶運動 PR活動 ハード整備	継続	サザエさん通りツアー 継続
交わる1	イベント グッズ すぐに開始可能!	ハード整備 みんなで手を取り合って	地域同時多発サザエさんイベント 回遊性
交わる2	イベント PR・グッズ 子どもから高齢者まで 楽しめる	ハード整備 通りの始点・終点を中心に	早良マンス 早良で 継続 バスで繋ぐ サザエさんPR 回遊性
まず認知度を上げる		ハード整備を進める	回遊性高め、 まち全体の魅力につなげる

「サザエさん通り」構想(案)



平成 25 年 12 月

目次

1. 「サザエさん通り」とは	・ ・ ・ ・ ・	4
2. 長谷川町子さんの足跡	・ ・ ・ ・ ・	5
3. 「サザエさん通り」誕生の経緯	・ ・ ・ ・ ・	6
4. これまでの取り組み	・ ・ ・ ・ ・	7
5. 長谷川町子美術館と桜新町のサザエさん通り	・ ・ ・ ・ ・	9
6. 「サザエさん通り」の現況と課題	・ ・ ・ ・ ・	11
6-1. ソフト面の現況と課題	・ ・ ・ ・ ・	11
6-2. ハード面の現況と課題	・ ・ ・ ・ ・	12
7. 構想策定の目的	・ ・ ・ ・ ・	13
8. 共働による構想策定	・ ・ ・ ・ ・	13
9. まちづくりの方向性（目指す姿）	・ ・ ・ ・ ・	14
10. 「サザエさん通り」構想のテーマ	・ ・ ・ ・ ・	15
11. 「サザエさん通り」のまちづくりの方針	・ ・ ・ ・ ・	16
11-1. ソフト面の取組の視点	・ ・ ・ ・ ・	16
11-2. ソフト面の取組方針	・ ・ ・ ・ ・	17
11-3. ハード面の取組の視点	・ ・ ・ ・ ・	19
11-4. ハード面の取組方針	・ ・ ・ ・ ・	20
12. 推進体制と「サザエさん通り」のこれから	・ ・ ・ ・ ・	25
12-1. 事業の担い手	・ ・ ・ ・ ・	25
12-2. 情報発信の手法	・ ・ ・ ・ ・	26
12-3. 「サザエさん通り」のこれから	・ ・ ・ ・ ・	27
13. 参考資料	・ ・ ・ ・ ・	28

ごあいさつ

謝辞

1. 「サザエさん通り」とは

「サザエさん通り」とは、脇山口交差点から西新通り交差点、博物館前交差点を経てシーサイドももち海浜公園入口に至る約1.6キロの通りです。

漫画家の故長谷川町子さんが、昭和20年代に百道の海岸を散歩しながら、国民的人気漫画「サザエさん」の登場人物サザエ、カツオ、ワカメなどの名前を考案したことを記念し平成24年5月27日に命名されました。



2. 長谷川町子さんの足跡

長谷川町子氏
photo

長谷川町子さん

1920年1月30日 - 1992年5月27日

サザエさんの作者である長谷川町子さんは、幼少期、戦中戦後を福岡で過ごしました。サザエさんの登場人物は、かつての百道の海岸で発案されました。福岡市そして早良区は、サザエさんが生まれたゆかりの地であり、長谷川町子さんとの関わりが深いまちです。

サザエさん うちあけ話
42P ⑤コマ
(海岸で横になり海産物を
思い浮かべるカット)

長谷川町子さんの略歴

1920年生まれ。佐賀県小城郡東多久村（現在の多久市）出身。日本初の女性プロ漫画家として知られる。代表作は『サザエさん』『いじわるばあさん』『エプロンおばさん』など。平成4年7月、家族漫画を通じ戦後の日本社会に潤いと安らぎを与えたとして国民栄誉賞が授与された。他に第8回（1962年（昭和37年）度）文藝春秋漫画賞、第20回（1991年（平成3年）度）日本漫画家協会賞を受賞。1992年（平成4年）5月27日死去。

サザエさんと福岡

長谷川町子さんは、幼少時に福岡市に転居し、春吉小学校を卒業。旧制福岡高等女学校（現福岡県立福岡中央高等学校）2年生の1933年（昭和8年）まで福岡で育った。1934年（昭和9年）、東京に転居したが、第二次世界大戦（太平洋戦争）中、1944年（昭和19年）から福岡市西新に疎開。西日本新聞社編集局絵画課に勤務した。終戦の翌日に同社を退職。その後、百道の海岸でサザエさんの登場人物を発案し、1946年（昭和21年）から福岡の地方紙「夕刊フクニチ」で「サザエさん」の連載が始まった。長谷川町子さんは、同年の暮れに東京へ拠点を移し、「サザエさん」の掲載紙も「新夕刊」を経て「朝日新聞」へと変わり、何度か中断期間を挟みながら、1974年（昭和49年）まで連載された。

サザエさん うちあけ話
43P ⑨コマ
(全国紙の求人欄に掲載され、東京へ
拠点を移すきっかけとなったカット)

3. 「サザエさん通り」誕生までの経緯

かつての百道の海岸が漫画「サザエさん」発案の地であることから、市民の方々による「サザエさん」のふるさとづくりの活動が起こり、平成 19 年、当時の海岸線であった磯野広場(早良区西新 6 丁目)に「サザエさん発案の地」記念碑が設置されました。

平成 24 年 2 月には、西新、高取、百道、百道浜校区各自治協議会会長及び福岡西部まちづくり協議会会長の連名で、「通り名称に関する要望書」が早良区長宛に提出されました。平成 24 年 3 月に早良区通り名称検討委員会において、通りの範囲及び名称について検討し、起点を西新の脇山口交差点、終点をシーサイドももち海浜公園入口とする約 1.6 km の通りを「サザエさん通り」とする案がまとまりました。その後、漫画「サザエさん」の著作権を有する長谷川町子美術館と、既に「サザエさん通り」がある東京都世田谷区桜新町商店街振興組合の承諾を得て、平成 24 年 5 月 27 日、早良区に「サザエさん通り」が誕生しました。多くの方々の熱意とご厚意に支えられてはじめて実現できた「サザエさん通り」です。

「サザエさん通り」のキャラクターは、「夕刊フクニチ」に掲載されていた頃の顔です。長谷川町子美術館より特別に、サザエさん発案の地にふさわしいキャラクターとしてご提供いただいたものです。



早良区「サザエさん通り」
キャラクター

4. これまでの取り組み

平成 24 年 5 月 27 日の「サザエさん通りオープニング式典誕生パレード」実施にはじまり、展示やウォーキング大会、ワークショップなど様々なイベントやキャンペーン活動を行ってきました。

1. 平成 24 年度「サザエさん通り」関連事業

●地域・企業等での取り組み ●共働事業 ●早良区役所主催事業

	月	日	事業
平成 24 年 度	5 月	23 日～6 月 22 日	●地下鉄西新駅ポスター掲示
		27 日	●サザエさん通りオープニング式典 誕生パレード実施(地域との共催) ●「サザエさん通り」通り名称プレート設置(20 か所)
		27 日～	●「サザエさん通り～長谷川町子・サザエさんとその時代～」展示 ●オープントップバスで「サザエさん通り」アナウンス開始
	6 月	11 日～15 日	●「サザエさん通り」の紹介展示
	7 月	1 日～15 日	●博多祇園山笠「サザエさん」飾り山
		21 日	●サザエさん子どもみこし
		27 日	●「「ももち浜です」サザエさん」の歌 CD 化、TNC 出演
		28 日～	●TNC 会館サザエさんブース開設
		30 日～8 月 31 日	●「サザエさん通り」の紹介展示
	9 月	3 日～11 月 2 日	●「サザエさん通り」の紹介展示
		8 日	●桜新町ねぶた祭りへの福岡特産品出店
		—	●磯野広場「サザエさん発案の地記念碑」設置岩の向き変更 ●「サザエさん通り」通り名称自立式プレート設置(5 か所)
	10 月	10 日	●原校区「サザエさん通り」ウォーキング大会
		14 日	●さわらの秋「サザエさん通り」ウォーキング大会 ●西新・高取勝鷹夢祭り 東京桜新町商店街から、サザエさん、マスオさん、着ぐるみ来福・「サザエさん焼き」九州初上陸
	11 月	10 日	●西新校区「サザエさん通り」ウォーキング大会
		18 日	●高取校区「サザエさん通り」ウォーキング大会
	1 月	23 日	●第 1 回サザエさん通りを生かしたまちづくりワークショップ開催
	2 月	19 日	●第 2 回サザエさん通りを生かしたまちづくりワークショップ開催
	3 月	3 日	●ソフトバンクホークス必勝祈願祭 サザエさん・海平さん着ぐるみ登場



平成 24 年 5 月 23 日～6 月 22 日
地下鉄西新駅ポスター掲示



平成 24 年 5 月 27 日
「サザエさん通り」誕生



平成 24 年 5 月・9 月
通り名称プレート設置



平成 24 年 7 月 1 日～15 日
博多祇園山笠飾り山



平成 24 年 10 月 14 日
「サザエさん焼き」九州初上陸

2. 平成 25 年度「サザエさん通り」関連事業

●地域・企業等での取り組み ●共働事業 ●早良区役所主催事業

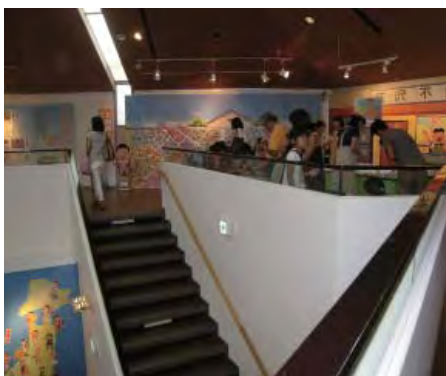
	月	日	事業
平成 25 年度	4 月	8 日	●春の交通安全キャンペーン サザエさん、海平さん着ぐるみ参加
		3 日～4 日	●博多どんたく港まつり西新演舞台 サザエさん、マスオさん、海平さん着ぐるみ参加
		12 日	●母の日にサザエさん、海平さんがカーネーション 配布
	5 月	26 日	●「サザエさん通り」誕生一周年記念シンポジウム
		27 日	●サザエさん 1 日早良区長
		27 日～	●「サザエさん通り」ハッピーウェディング事業 ●「サザエさん通り」撮影コーナー開設
	6 月	16 日	●ラブアース・クリーンアップ 2013 早良区 サザエさん、マスオさん着ぐるみ参加
	7 月	1 日～15 日	●博多祇園山笠「サザエさん」飾り山
		9 日	●「さわらの四季コーナー」サザエさんカルタ 販売開始
	8 月	5 日	●「さわらの四季コーナー」サザエさんグッズ 販売開始(クリアファイル、ノート外)
	9 月	12 日	●第 1 回「サザエさん通り」構想検討会
		14 日	●桜新町ねぶた祭りでの福岡サザエさん通り PR
		29 日	●サザエさん通りまちづくりワークショップ(若者) 小学生～大学生が参加したまちづくりワークショップ
	10 月	6 日	●「サザエさん通り」ウォーキング大会
		13 日	●西新・高取勝鷹夢祭り
		16 日	●サザエさん通りまちづくりワークショップ(一般) 地域住民、団体、行政が参加したワークショップ
	11 月	7 日	●第 2 回「サザエさん通り」構想検討会
	12 月	9 日	●第 3 回「サザエさん通り」構想検討会

平成 25 年 4 月 8 日
春の交通安全キャンペーン平成 25 年 5 月 26 日
誕生一周年記念シンポジウム平成 25 年 5 月 27 日
ハッピーウェディング事業開始平成 25 年 9 月 29 日
サザエさん通りワークショップ(若者)平成 25 年 10 月 16 日
サザエさん通りワークショップ(一般)

5. 長谷川町子美術館と桜新町のサザエさん通り



長谷川町子美術館



長谷川町子美術館「サザエさん展」

長谷川町子美術館

長谷川町子さんが、姉の毬子さんと共に蒐集した美術品を、広く社会に還元しようとの思いをもとに、昭和60年11月3日に長谷川美術館として開館。それらの蒐集作品は、作家名にこだわることなく、純粹に好きな作品を購入する方法で集められたもので、その種類は日本画・洋画・ガラス・陶芸・彫塑など多岐に渡ります。

平成4年、長谷川町子さん没後は、館名を現在の長谷川町子美術館と改め、作品の収集・展示が続いています。

年に数回開催される収蔵コレクション展では、毎回テーマに沿った作品が、作家名やジャンルにとらわれることなく自由な発想で展示され、また、来館者の方々にも自由な感性でご覧いただけるようになってます。

町子コーナーでは、長谷川町子さんが描いた漫画作品、『サザエさん』をはじめとして、『いじわるばあさん』や『エプロンおばさん』などの原画や、長谷川町子さんが手がけた陶芸や水彩などの作品もご覧いただけます。また、毎年夏には全館をあげて「アニメサザエさん展」を開催し、『サザエさん』の原画とアニメの世界が紹介されています。

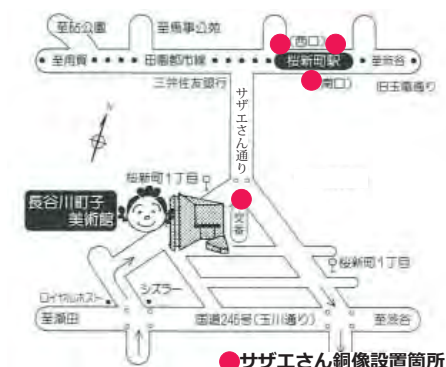


桜新町商店街 サザエさん通り

桜新町のサザエさん通り

桜新町商店街は、その名の通り桜が美しく咲く街、サザエさんがいつも微笑んでいる街としてよく知られています。街のあちこちでサザエさんや磯野家の人々がウェルカムボードとして迎えてくれる楽しさは、人情味あふれる商店街の温かみを一層感じさせてくれます。「サザエさん通り」は電柱と電線が地下に埋設されているため、ゆったり幅の歩道を行き来して快適に買い物や散策が楽しめます。商店街の一角にある長谷川町子美術館へはもちろん、さくらまつり、ねぶた祭といったイベントには全国から多くの人々が訪れ、地元の住民とともに街ににぎわいをもたらしています。

駅前通りとサザエさん通りには200人を超す店舗が集まっています。『サザエさん』の登場人物をあちこちで見かけることができる商店街は、地域の住民にとって長谷川町子美術館とともになくてはならない存在として親しまれています。どのお店にも自慢の逸品があり、それぞれのお店の歴史物語を紡いでいます。近隣には桜の名所として有名な呑川の遊歩道や世田谷区代官屋敷など見どころたっぷりのスポットもあり、遠方からの来訪者も多い町です。



桜新町商店街 サザエさん通り

桜新町のイベント・ソフト事業

平成24年に銅像が設置された際には盛大に除幕式が行われ全国の注目を集めました。毎年春には「さくら祭り」が、また9月には「ねぶた祭り」が開催されており、「ねぶた祭り」にはサザエさんのねぶたも登場します。いずれの祭りも大勢の観客を集めています。桜新町商店街ではサザエさんの缶バッジやマグカップ、Tシャツなどグッズ販売も展開しています。



サザエさん一家銅像除幕式



ねぶた祭り「サザエさんねぶた」



桜新町商店街 サザエさんグッズ販売

桜新町のハード事業

桜新町駅の入出口やサザエさん通りの端点に銅像が設置されたり、街灯にサザエさんのバナーが設置されたりしています。また、車止めなどにもサザエさんのイラストが載っていたり、至る所にサザエさんのウェルカムボードが置かれたりと、通り一体がサザエさんで統一されています。



桜新町駅西口 サザエさん一家銅像



サザエさんのバナー



車止めなどにサザエさん



ウェルカムボード

広報

桜新町商店街から季刊紙「さくらだより」が発行されています。桜新町近辺で開催されるイベントの情報やサザエさんグッズの紹介の他、桜新町のひとの紹介や小学生の日記、桜新町の今昔の話などが載せられており、地域に密着した情報紙になっています。また、桜新町のおともだちとして早良区の「サザエさん通り」も取り上げていただいています。



6. 「サザエさん通り」の現況と課題

6-1. ソフト面の現況と課題

現況

「サザエさん通り」とその周辺には古くからの街なみと新しい街なみ、活気のある商店街、小学校から大学までの教育施設、博物館・総合図書館などの文化施設、企業などが集まっており、様々な人々が生活しています。これまで行政の取組、商店街や校区等地域主導の取組、企業の取組など、数多くの活動が行われてきました。



課題

これまでの取組状況を踏まえ、今後、「サザエさん通り」を生かしたまちづくりを進めていくために、以下の4つの課題が考えられます。

1) 「サザエさん通り」の認知度向上

「サザエさん通り」が誕生して間もないため、通りの認知度がまだ低いのが現状です。

2) 取組の成果の活用

これまでの取組結果を踏まえ、次に生かしていく事が継続と発展につながります。

3) 個々の活動の連携の充実

これまでの取組は単独のものが多く、地域や団体、行政等の連携が望まれます。

4) 情報の共有と発信力強化

「サザエさん通り」の関連事業の情報について広い範囲を対象とした情報発信が望まれます。

6-2. ハード面の現況と課題

現況

平成 25 年 12 月現在、「サザエさん通り」各所に共架タイプ名称プレート (20 ヶ所)、自立式名称プレート (5 ヶ所)、磯野広場にサザエさん発案の地記念碑が設置されています。「サザエさん通り」の魅力を高めるために、通りの起点・終点や曲角の広場の活用や要所に休憩所の設置、舗装の統一など、地域の方々が使いやすく愛着のわく通りづくりが望まれます。



■ プレートの設置
(単独柱タイプ)



● プレートの設置
(共架タイプ)



磯野広場
サザエさん発案の地記念碑



シーサイドももち海浜公園
中央プラザ



福岡タワー前交差点



博物館前交差点



西新通り交差点 磯野広場



脇山口交差点



① ② ③
舗装の統一性

課題

「サザエさん通り」のハード面の現状を踏まえると 4 つの課題が見受けられました。この課題を解決させていくことが「サザエさん通り」を生かしたまちづくりへとつながると考えられます。

1) 通りの範囲の周知

通りの範囲が周知されていないのが現状で、それを周知させることが望まれます。

2) 通りのシンボル性向上

始点、曲がり角、終点などの存在感が低いため、存在感を増加させる必要があります。

3) 通りの雰囲気の一貫化・魅力づくり

新旧 3 つの通りの雰囲気（見た目や歩きやすさ）が異なるため、統一感が必要と思われます。

4) 周辺地域への広がり

通りを軸に周辺地域への広がりを持たせる事が必要と考えられます。

7. 構想策定の目的

早良区では、福岡市における故長谷川町子さんの足跡を残しこれを末永く伝えとともに、地域の活性化のために「サザエさん通り」を活用することとしています。前途の現況と課題を踏まえつつ、「サザエさん通り」を生かしたまちづくりを推進するため、地域と行政の共働で取り組むまちづくりの具体的なビジョンを取りまとめるものです。

サザエさん
漫画
一卷表紙

サザエさん通り

Photo

8. 共働による構想策定

構想の策定にあたっては、地域、企業・団体、学校、行政が共働で取り組むため、下記の皆様のご協力を得て、「サザエさん通り」構想検討会を設置し、ワークショップも実施しながら検討を進めました。

敬称略、五十音順

職	氏名	所属職名
顧問	川口 淳二	長谷川町子美術館 館長
会長	森田 昌嗣	九州大学大学院 教授
副会長	G. W. バークレー	西南学院大学 学長
委員	井上 るみ	早良区役所 区長
委員	内田 重光	西新校区自治協議会 会長
委員	小山 芳勝	福岡市博物館 副館長
委員	岸川 哲也	福岡商工会議所西センター センター長
委員	久池井 良人	福岡市総合図書館 館長
委員	佐藤 幸市	百道校区自治協議会 会長
委員	柴崎 正廣	百道浜校区自治協議会 会長
委員	都合 雅彦	テレビ西日本 取締役事業局長
委員	鳥巢 勲	西新発展協議会 会長
委員	皆川 晴克	高取校区自治協議会 会長
委員	矢賀部 雄二	高取商店街振興組合 理事長
委員	吉武 勝美	サザエさんの会 会長

9. まちづくりの方向性（目指す姿）



まち全体が
サザエさん一家

漫画「サザエさん」から「明るい」「元気」「人情味が厚い」をイメージをする意見が平成24年度のワークショップで多く出されました。また「サザエさん」に登場する磯野家は、三世代が生き生きと暮らし、近所づきあいも活発な元気で明るいまちに住んでいます。

「サザエさん通り」を生かしたまちづくりでは、「まち全体がサザエさん一家」という姿を目指し、地域に住んでいる人も地域を訪れる人も、子どもから高齢の方まで、全ての人が、みんな家族のように生き生きと遊び、学び、交流するまちづくりを進めていきます。

サザエさん うちあけ話
43P ⑧コマ
(人で賑わう商店街や
映画館のカット)

サザエさん うちあけ話
43P ⑦コマ
(サザエさん一家のカット)

10. 「サザエさん通り」構想のテーマ

<構想で大切にする4つのテーマ>

「サザエさん通り」構想では、以下の4つを今後の「サザエさん通り」の、大切なまちづくりのテーマとして位置づけました。構想ではこのテーマに沿ってソフト・ハード両面の取組・整備方針をたてていくこととします。

1) 「サザエさん通り」を生かした共働のまちづくり

イメージスケッチ

地元（校区自治協議会・まちづくり団体など）・商店街・企業・大学（学校）・行政等、異なる立場にある人々が「サザエさん通り」を介してつながり、「まち全体がサザエさん一家」となるよう、それぞれが主体的に役割を担いつつ共働してまちづくりを進めます。

2) サザエさん一家のような明るく、子どもが夢を描けるまちづくり

イメージスケッチ

地域に住んでいる人も地域を訪れる人も、子どもからご高齢の方まですべての人が、サザエさん一家のように生き生きと明るい気持ちになるまちづくりを進めます。心のバリア（障壁）も身体バリアもなく誰もが暮らしやすい「ユニバーサル都市・福岡」を実現し、子どもたちが夢を描けるまちを目指します。

3) 人と環境を大切にするまちづくり

イメージスケッチ

サザエさんが発案された当時の海岸線（現よかトピア通り）を経て、現在の海岸線であるシーサイドももち海浜公園に至る「サザエさん通り」。この特長を生かし、サザエさんゆかりの海や海岸線も含めた環境美化活動や環境意識の醸成など、環境を大切にするまちづくりを行います。

4) 線から面への広がりを持ったまちづくり

イメージスケッチ

「サザエさん通り」と、商店街や博物館、総合図書館、元寇防塁などの歴史的遺産、福岡タワーといった近辺の名所とを結びつけ、「サザエさん通り」を基軸として周辺との回遊性を高め、面的広がりをもつ魅力あるまちづくりを進めます。

11. 「サザエさん通り」のまちづくりの方針

11-1. ソフト面の取組の視点

ソフト面の現状と課題、構想の全体テーマを踏まえたソフト事業の取組の視点を以下の4つとします。これをもとに「サザエさん通り」が皆に親しまれ、早良区を代表する通りとなるよう、取組方針を定めていきます。

1) 「サザエさん通り」の認知度を高める



イメージスケッチ

「サザエさん通り」の存在、そしてサザエさんがこの地で誕生したということを地域の方や来訪者に広く知ってもらうため、「まち全体がサザエさん一家」というテーマを体現するような通りとなることを目指します。そのために、住民や企業・団体、行政が共働で取り組む必要があり、また連携して内外に発信していくことが必要です。

2) 「サザエさん通り」で遊ぶ、「サザエさん通り」を楽しむ



イメージスケッチ

家族や仲間で訪れて楽しい、歩いて楽しい通りを目指します。地域の方や来訪者が使いやすくなるしくみや、イベントや活動を通して、子ども達の夢を育む通りになるよう努めます。

3) 「サザエさん通り」で学ぶ、「サザエさん通り」を学ぶ



イメージスケッチ

地域の環境や歴史などを学び、長谷川町子さんの足跡や「サザエさん」の原作の良さを伝える通りを目指します。桜新町の「サザエさん通り」にはない、海を臨めるという特長を生かすなど、地域に根ざした事業に努めます。

4) 「サザエさん通り」で交わる



イメージスケッチ

住む方、来訪者が交流できる通りを目指します。近年、地域や企業・団体の様々な取組を通して、人と人とのつながりが深まりつつあります。このネットワークを活用し、連携をすることで、「サザエさん通り」を主軸として南北に長い早良区全体を視野に入れた広い視点での事業に努めます。

11-2. ソフト面の取組方針

昨年度と本年度のワークショップでの意見を踏まえ、ソフト面の取組方針を大きく以下の4つに集約。様々な主体が役割を分担し、連携を図りながら事業を進めていきます。

1) 住む人、訪れる人、すべての人が元気で明るくなる



漫画「サザエさん」の「明るい」「元気」「人情味が厚い」イメージを目標とします。「サザエさん通り」の認知度を高める上で、地域・企業・団体が共働し、あいさつ運動などの日常的な活動から、「サザエさん通り」関連のイベントまで、住む人・訪れる人両方の視点で元気で明るくなれる通りを目指します。

<具体例>

日常的な活動：あいさつ声かけ運動、清掃活動、
花いっぱい運動 等

P R 展 開：のぼり・ポスター、複数施設での
同時展示、福岡タワーのイルミネー
ション活用、Facebook 等での情報発信、
タブレットなどを活用した解説 等

2) 「遊」 家族や仲間で遊び楽しむ



地域にはレジャー施設やせせらぎのある遊歩道、夏祭りなど楽しく遊べる施設やイベントが多くあります。それらを生かしながら新たに通り全体で行うウォーキングイベントの開催やグッズ展開などにより、家族や仲間で楽しめる「場」づくりを進めます。

<具体例>

通りでのイベント：ウォークラリー・スタンプラリー、
お祭り（夏祭り、子ども御輿、
パレード） 等

海辺でのイベント：スケッチ大会、地引網、潮干狩り大会、
海産物バーベキュー大会 等

グ ッ ズ 展 開：缶バッジ、エコバッグ 等

3)「学」 子どもからお年寄りまでみんなで学ぶ



地域には小学校から大学までの学校や多くの歴史資源があります。地域の歴史やこの地で誕生したサザエさんに関する講演会、元気なサザエさん一家にちなみ家族みんなの健康のための食育の促進、昔遊びの伝承、環境の学習など、年齢の隔たりなく多様に学べるイベント・活動を行います。

<具体例>

講演や展示（長谷川町子さんの足跡、サザエさん誕生時の時代背景、自然環境）、元寇防塁など通り周辺の史跡巡りイベント、海の生き物調査、「サザエさん通り」検定、食育レシピ募集・普及 等

4)「交」 広く集い交流する、昭和と平成が交わる



「サザエさん通り」の一部はかつての海岸線であり、昭和と平成のまちが交わる場所です。また、広い遊歩道など多くの人が集える場所もあります。このような環境を生かしながら、4校区全体での共同イベント、地域・学生の交流事業など、人が集まり交流するイベント・活動を行います。また、西新商店街と桜新町商店街との交流を深めていきます。

将来的には、より広い交流や回遊性の向上を図るため、サザエさん以外の登場人物の名前を冠した新たな通りの誕生やそれらを結ぶイベントなどが望まれます。

<具体例>

「サザエさん通り」ウィークなどを設けて各所でイベントを実施、昔遊びを通じた昭和世代と平成世代の交流、桜新町商店街との交流、4校区合同行事、校区間の交流事業、学生・地域住民の交流、福岡タワー来場者などの通りへの誘導（案内マップ、スタンプラリー） 等

11-3. ハード面の取組の視点

ハード面の現状と課題、構想全体テーマを踏まえ、「通りの認知度向上」から「まちづくりの面的な広がり」まで、ハード事業の取組の視点を以下の4つとします。

1) 「サザエさん通り」だと分かる通りをつくる

イメージスケッチ

ワークショップの参加者、特に若年層からは「サザエさん通り」があるのは知っているが、どこが「サザエさん通り」なのかよく分からない」との声が聞かれました。既設の通り名プレートに加え、通りの舗装・柵・街灯・植栽の環境整備により、地域の人からも来街者からも「ここがサザエさん通り」と見て分かる通りの整備を目指します。

2) 認知度向上につながるシンボル性をつくる

イメージスケッチ

ワークショップでは特に早期での「サザエさん通り」の認知度向上の声が大きく聞かれました。通りの顔となる「脇山口」の交差点、かぎがたに折れ曲がる「西新通り」「博物館前」交差点、終点の「シーサイドももち海浜公園」など通りの重要な部分にサイン等のシンボルとなるものを設置し、人の目に触れる機会を増やすことで通りの認知度向上に寄与します。

3) 誰もが利用しやすい「サザエさん通り」をつくる

イメージスケッチ

「サザエさん通り」のうち、脇山口交差点から西新通り交差点間は、歩道の幅員が限られ、通学時間帯などは歩行者・自転車が錯綜します。また、外国人観光客等からも観光地福岡タワーへの多国語表記サインの不足などの声が聞かれます。健常者・障がい者・老若男女・住民から来街者まで、あらゆる立場の人にとって利用しやすく魅力的な「サザエさん通り」を目指します。

4) 線から面のまちづくりにつながる計画でつくる

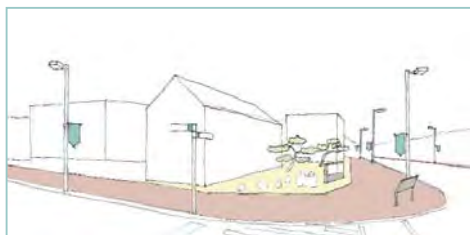
イメージスケッチ

「サザエさん通り」の整備から始まり、それがやがて地域全体の魅力につながっていく、線から面への時間をかけたまちづくりが統一感と広がり感を持って継続することを目指します。計画当初からキャラクターや色彩・デザインの基本ルールを定め、公から民まで多様な情報が、誰にも分かりやすいものとなるよう、ソフト面でのアイデアを盛り込んだ整備を行っていきます。

11-4. ハード面の取組方針

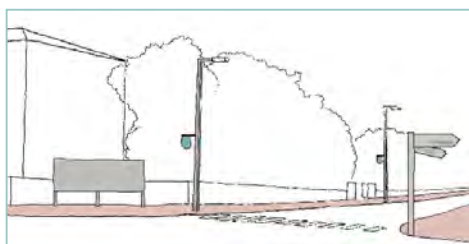
ハード面の整備テーマを受けて、具体的な整備を進めていく際の基本方針を定めます。現在「サザエさん通り」がもつ特性や課題に対して、整備テーマを実現するためにとるべき基本方針となります。

1) 通りのつながり感を高める



もともと別の3つの通りからなる「サザエさん通り」は一つの通りとして認識しにくい現状です。バナーの設置やサインの展開、舗装・植栽などの整備により統一感を高めることで「サザエさん通り」のつながり感を高め、だれからも分かりやすい通りをつくります。また通りに顔を出す官民のサイン・看板などには基本的なルールを定めることで、整理されたまちなみを継続的に形成していくことを目指します。

2) 通りのシンボル性を高める



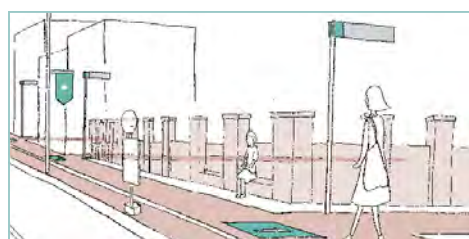
磯野広場に加え、カギ形に曲がる「サザエさん通り」の起点・終点の曲角の計4箇所を通りのシンボルゾーンとして位置づけし、通り全体の総合案内サインやサザエさん関連のオブジェ等の配置を検討。通りの入口を明示し、結節点を魅力あるものにする。ことで、徒歩ではやや長い通りの回遊性を高めます。サイン等の整備の際には地域に根ざした歴史・文化資源（元寇防塁、高取焼等）との連携や、リサイクル材料の使用を検討し、地域や環境への視点を整備に盛り込みます。

3) 歩きやすい通りにたまりと拠点をつくる



自転車レーンの整備による安全な歩行空間の確保や段差の解消などの日常時の安全性確保から、多言語表記などの観光客に向けた配慮、高齢者や子ども連れの休憩場所など、様々な立場の人に利用しやすいユニバーサルデザインの通りを進めます。井戸端会議など、サザエさんに描かれる人の交流を生み出すたまり空間を、大学のエントランス部分等に作り出すことを目指します。

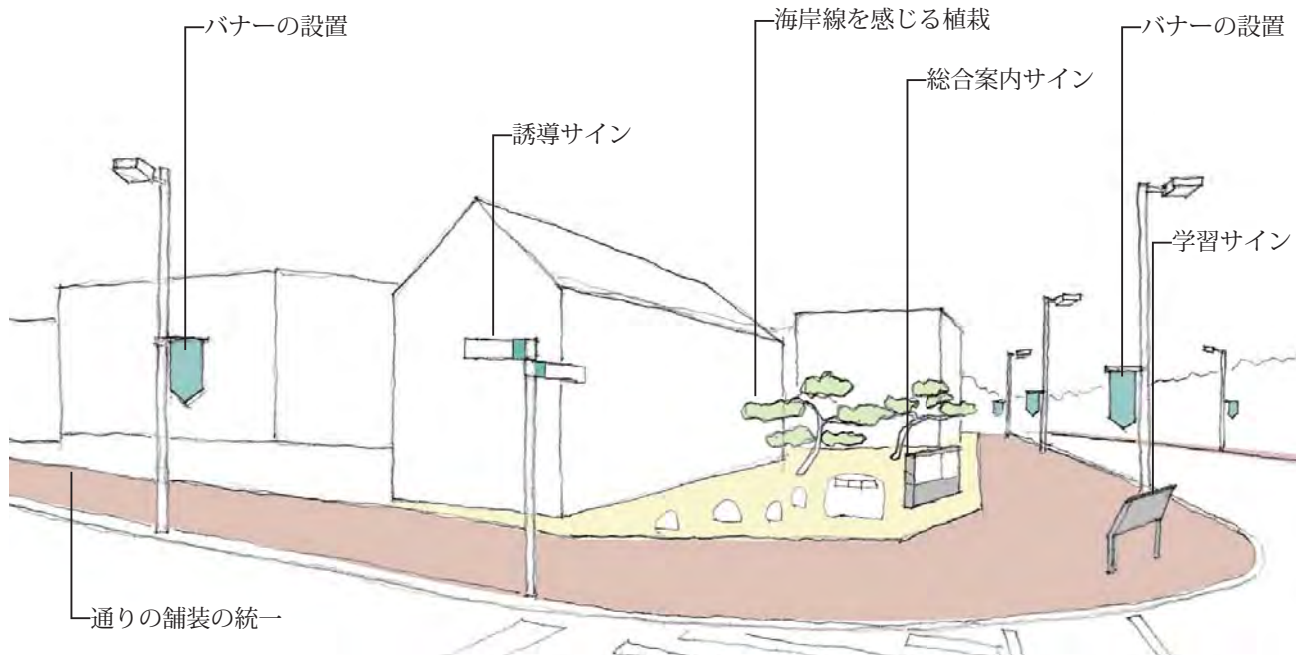
4) 通りの魅力を面的にひろげる



商店街や歴史的遺産など、「サザエさん通り」近辺の魅力と通りを結びつけ、面的広がりを持つゾーンをつくります。周辺へのサイン誘導や散策コースの設定などをサザエさん通りをスタート地点として展開、地域の多様な魅力につながるインデックス（見出し）としての通りを目指します。ワークショップでアイデアとして出された、キャラクター入りマップやタブレット端末をもちいた仮想現実等のソフト的なアイデアとの組み合わせによる相乗効果も期待されます。

11-4. ハード面の取組方針-1 通りのつながり感を高める ー具体例ー

もともと別の3つの通りからなる「サザエさん通り」は、一つの通りとして認識しにくい現状です。デザインルールを検討し、それに基づいたバナーやサインの設置、舗装などの整備により統一感を高めることで「サザエさん通り」のつながり感を高め、だれからも分かりやすい通りづくりを目指します。又、交通系サイン、歴史系サイン、民間の看板など異なる設置主体によるサイン、看板が混在しがちですが、大まかな共通ルールを定め、通り全体を官民で景観的に整えていくことを目指します。



バナーの設置

既存街灯にバナー用アームを設置。視覚的に連続して見える位置にバナーを並べることで通りのつながり感を高めるなど統一ルールを新しく設ける。



舗装

博物館前交差点を境に北：レンガブロック敷、南：インターロッキング敷となっている。旧西新通りのインターロッキング舗装の乱れが目立つなど、整備された時期や当時の通りの性格が異なるため、レンガブロックでの舗装の統一や舗装ルールの統一が考えられる。



レンガブロック敷



インターロッキング敷

インターロッキング敷
(色等の乱れが目立つ)

サインの展開

始点・終点の総合案内サイン、曲角への誘導サインなどサインを展開。通りの統一感を高める。各種サインの基本ルールを定める。

総合案内サイン



誘導サイン



植栽

通りの始点や磯野広場等には花壇を設置し、明るく楽しい雰囲気での通りのつながり感を高める。又、旧海岸沿いの磯野広場にはかつての海岸線を想起させる植栽計画も検討する。



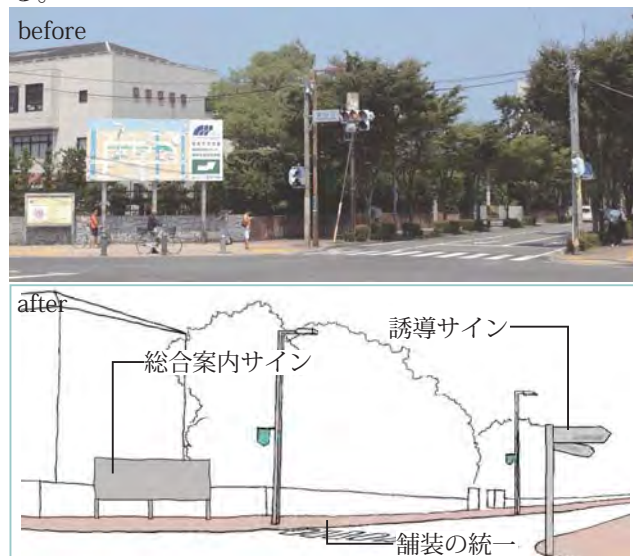
11-4. ハード面の取組方針-2

通りのシンボル性を高める ー具体例ー

「サザエさん通り」をよりわかりやすいものにするため、起点・終点、曲角のシンボル性を高めます。通り全体の総合案内サインやサザエさんゆかりのシンボルの配置を検討、徒歩ではやや長い通りの結節点を魅力あるものにします。

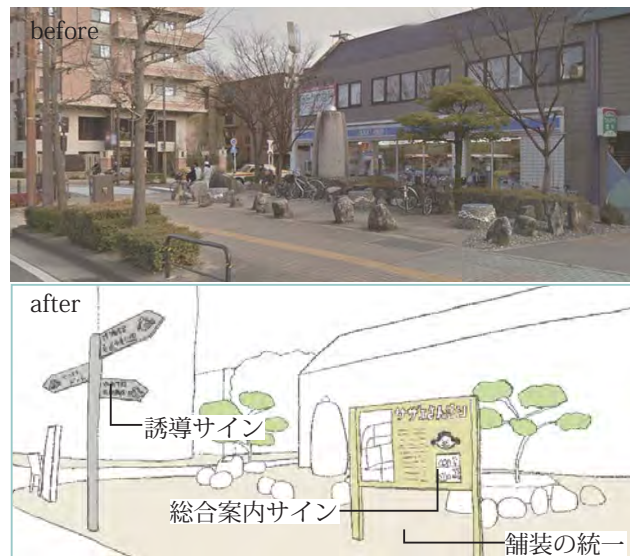
「サザエさん通り」起点 脇山口交差点

「サザエさん通り」の出発点として総合案内サイン、写真撮影スポットを整備。また、最寄り駅である西新駅構内に通りや主要施設への誘導サインを整備し、サザエさん通りとのつながりを強める。



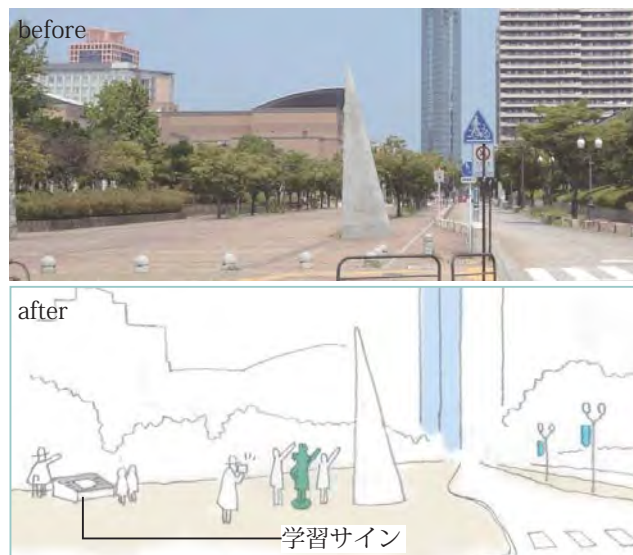
磯野広場（西新通り交差点）

サザエさん着想の場として重点的に整備。誘導サイン、総合案内サインの設置、かつて海辺だったことが感じられる工夫を行う。



博物館前交差点

福岡タワーを正面に望む視点場。写真の撮影場所としての整備と、ここから先が埋立地であるという歴史を伝える学習サイン整備が考えられる。



「サザエさん通り」終点

シーサイドももち海浜公園（中央プラザ）

博多湾や百道浜を望む視点場。この海を見ながらサザエさんの登場人物が生まれたことを伝える学習サインや、西新方面へ向かう通りを伝える総合案内サインを整備。写真の撮影場所としての整備も考えられる。



11-4. ハード面の取組方針-3

歩きやすい通りにたまりと拠点をつくる ー具体例ー

木陰のベンチや小広場などの日常的な休憩・たまり場、観光客に対応する通りの拠点施設（記念館・ショップ等）を整備。地域住民・学生に加え、観光客も視野に入れた通りの魅力をつくり、通りを多世代の人びとが楽しめる場にします。

たまり・休憩場所

漫画「サザエさん」に描かれるような立ち話ができる場所を整備。住民の井戸端会議、観光客の休憩場所、小さな交流の場所をつくります。

既存の休憩場所を活用



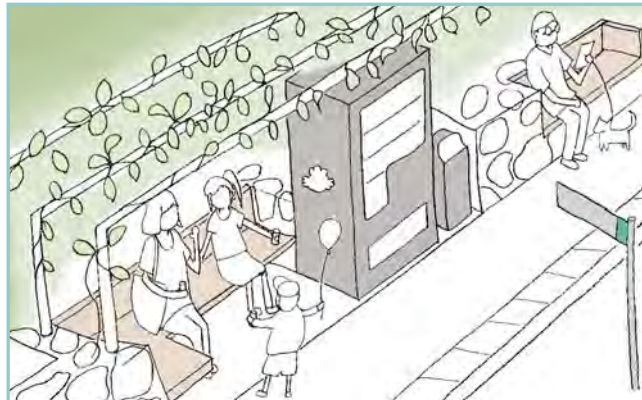
サイン等で誘導。

未活用スペースを活用



公共・学校・民間の空きスペースにたまりの場所を創出。

整備イメージ



現存する歩道の凹地等を利用し、休憩場所を整備。自動販売機などは色彩等のルールを設け、調和のとれた景観を目指します。

拠点

通りに面した場所にサザエさんや長谷川町子さんに関する拠点施設を整備。通りの活性化に加えサザエさん通りを目的とした観光客にも対応します。

磯野広場を活用



広場や近接するテナントに拠点施設を整備。

既存スペースを活用



公共施設の一部や既存施設のスペースを有効に活用。

整備イメージ



短・中期的には既存施設を一部利用しながら、長期での検討も継続します。

11-4. ハード面の取組方針-4 通りの魅力を面的にひろげる -具体例-

商店街や歴史的遺産など、「サザエさん通り」近辺の魅力と通りを結びつけ、面的広がりを持つゾーンをつくります。周辺へのサイン誘導や散策コースの設定などを「サザエさん通り」をスタート地点として展開、地域の多様な魅力につながるインデックス（見出し）としての通りを目指します。

通りを起点とした周辺への誘導サイン

「サザエさん通り」沿いに周辺への誘導サインを設置。バーコードリーダーで情報を発信する仕組みなど、ソフトと組み合わせ、建物や史跡など地域の魅力へと誘導し、通りを起点として面的広がりをつくります。

史跡



西新元寇防塁

建築物



西南学院大学博物館

商店街



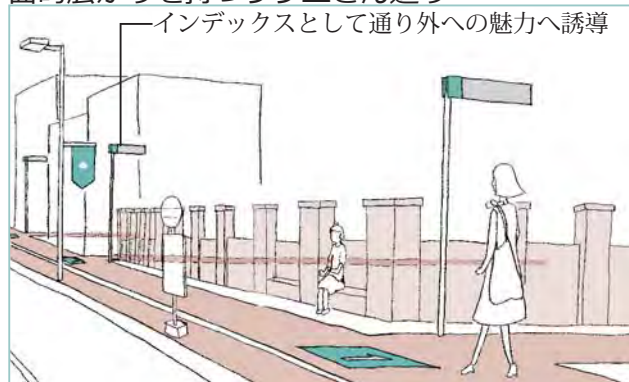
商店街

拠点施設等



早良区役所

面的広がりを持つサザエさん通り



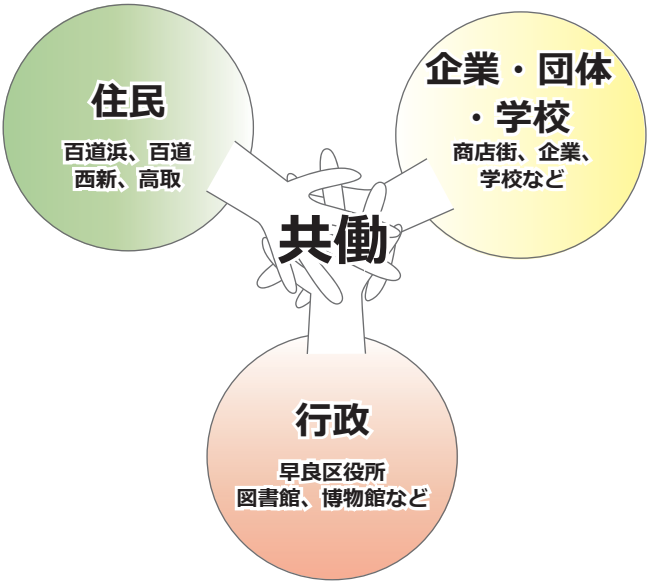
12. 推進体制と「サザエさん通り」のこれから

12-1. 事業の担い手

現在、各校区でのイベントにサザエさんが登場したり、桜新町商店街と西新商店街の交流事業が継続して行われていたり、地域や団体での「サザエさん通り」を生かしたまちづくりが進められつつあります。また、行政においても、通り名プレート整備に引き続いての「サザエさん通り」の認知度を高める整備の準備が始まりつつあります。

ソフト・ハードにわたる今後の「サザエさん通り」関連事業は、事業の中身によってその担い手は多様に変わりますが、4校区の自治協議会、商店街、企業、学校、市民団体や行政などが役割分担を行って、共働しながら進めていきます。

個々の活動やイベント、整備等が連携することで相乗的な効果が得られるよう、各団体間で連絡を緊密にとりながら、ソフト・ハード両面での「サザエさん通り」を生かしたまちづくりをより一層進めていくことが望まれます。



まちづくり事業	中心となる担い手
イベント（営利目的）	
イベント（非営利）	
日常的な活動	
学校とのタイアップ	
企業・団体とのタイアップ	
道路の整備	

12-2. 情報発信の手法

今年度のワークショップでは「サザエさん通り」の認知度アップについて多くの関心が集まりました。ハード整備による認知度向上が工事等の時間を要する一方、情報発信による認知度向上は早期に着手可能です。

情報発信の手法はインターネットの普及、フェイスブックなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サイト）やタブレット端末の流行など、目覚ましい発展をとげつつあり、それらは中高生・大学生など次代のまちづくりを担う若い世代に広く受け入れられています。

「サザエさん通り」の情報発信については、市政だよりや早良区内全25校区の公民館だよりといった紙面を用いた広報から、地元放送局の協力を得てのテレビやラジオ等マスメディアによる情報発信、インターネット上のホームページやフェイスブックなどのSNS、タブレット端末を活用した新しい発信方法まで、様々な方法での発信を行っていきます。

情報発信の際には「サザエさん通り」と長谷川町子美術館からご提供いただいた「サザエさん通り」キャラクターを繰り返し使用し、広く親しまれる福岡の「サザエさん通り」イメージづくりを目指します。

情報発信の方法



共通して発信するイメージ



12-3. 「サザエさん通り」のこれから

「サザエさん通り」を生かしたまちづくりについては、すぐ始められる活動から準備期間が必要な事業まで様々ですが、大まかには「早期の認知度向上」「中期でのハード整備」「長期での回遊性向上」という時系列の整理が妥当と考えられます。

これら、短中長期の目標をベースとしながら、2016年のサザエさん誕生70周年・西南学院100周年など節目となる年を目標に定めて、全国区での「福岡のサザエさん通り」イメージの確立を目指してソフト・ハード事業の計画・立案・推進を継続的行っていきます。

短期					中期			長期
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	以降
周年行事等	早良区 サザエさん通り 誕生	テレビ西日本 55周年 サザエさん放送 45周年 みんなのサザエ さん展（全国）	福岡タワー 25周年	長谷川町子美術館 30周年 福岡市博物館 25周年	西南学院 100周年 サザエさん誕生 70周年 福岡市総合図書館 20周年	高取焼 300周年	テレビ西日本 60周年 サザエさん放送 50周年	
ソフト事業			お祭り 環境イベント ウォーキングイベント 食育 検定 清掃活動 挨拶運動 グッズ展開 早期の認知度向上		イベントイヤー		回遊性高め まち全体の魅力へ	
ハード事業			ハード整備の充実					

13. 参考資料

13-1. 「サザエさん通り」まちづくりワークショップ(若者)まとめ

未来(時間軸)を
視野に入れたまちづくり

(9月29日(日)実施 小学5年生～大学生 19名参加)

●若者ワークショップから出た主な意見

ソフト
にぎわいを
継続させる

- 毎年の開催日(サザエさんの日など)を決め、イベントを実施。毎回内容を変え、にぎわいを継続させる。
- 施設や店舗の営業時間に着目し、営業時間延長等まち全体ににぎわいをつなげる工夫を行う。
- タワーのイルミネーションにサザエさんを登場させる。
- 校区ごとで行っている行事を地域みんなで楽しめるようなイベントにする。

- ・地域の祭りやイベント：夏祭りの範囲拡大、サザエさん花火、サザエさんの日を決めてパレード・お祭り
- ・海関連のイベント：百道浜小の地引網を地域の人々で楽しむ
- ・歩くイベント：ウォークラリー・スランブラリー、クイズラリーなど
- ・コンクール・コンテスト：サザエさん検定、サザエさん踊りコンテスト
- ・その他イベント：桜まつり、図書館でサザエさんフェスタ
- ・日常の活動：清掃活動、花を植える、サザエさん通りにまつわるボランティア活動

ハード
時代や季節を
考慮する

- 過去と現在、未来の時系列で行う整備計画。サザエさんゴミ箱設置など環境先進ストリートをめざす。
- サザエさん通りの認知度を高めるための整備が必要(アーチや銅像など)。
- 学校の授業や活動と協働した事業(季節を感じる花壇設置など)。
- 既存施設を利用したサザエさんコーナーの設置。(図書館・博物館など)

- ・サザエさん一家のモニュメント：銅像、通り入口にアーチ
- ・拠点づくり：サザエさんショップ・カフェ、サザエさんハウスなど
- ・サザエさんコーナーの設置：福岡タワー、図書館、博物館、TNC会館、マリゾン、ヤフオクドーム、商店街、ブラリバ等
- ・ストリートファニチャーの整備：ベンチ、歩道、マンホール蓋等にキャラクター
- ・通りのサイン等の整備：サザエさん通り〇〇mの標識、サザエさんの歴史の掲示、四コマ漫画の設置
- ・サザエさん考案当時の比較ができる整備：昔の海岸線を再現、写真や解説の看板、海の生き物の看板
- ・信号機音声誘導などにサザエさんの音楽を使う

広報その他
認知度を
高める

- 地域資源(高取焼など)を使ったPR。ご当地アイドルによるPRなど。
- 名物をつくるなど、地元の企業等とタイアップしたPR活動。
- SNS、CM、パンフレットなどを媒体としたPR。
- 子どもにも知ってもらえる工夫(歴史の教科書に記載等)

- ・通りイラスト・グッズ展開：自販機、ドリンク、バス、ゴミ箱、高取焼、Tシャツ、お菓子等にサザエさん
- ・通りPR：タワーイルミネーション、SNS、サザエさんレンタサイクル、ホームページ立ち上げ、CM作成
- ・通り案内マップ、パンフレット等の作成
- ・ホークスの試合での着ぐるみを登場させる。ホークスメガホンにサザエさん一家、他の有名なキャラクターとコラボ
- ・「サザドル」(アイドルみたいなもの)をつくる、案内するボランティア募集、ロボットアイドルがサザエさん通りを案内
- ・学校の歴史の教科書にサザエさんのことを記載

●若者ワークショップ意見のまとめ

グループ	テーマ	代表的なアイデア
「遊」	サザエさん通りをPRするには？	・名物をつくる(料理・地域資源を活用したグッズ) ・拠点をつくる(通りのインフォメーション・グッズの販売) ・イベントを開く(既存施設との共働、地元球団との共働) ・通りのPR(自販機やドリンクにキャラクターを使用、WEBの活用)
「学」	「これまでのサザエさんとこれからのサザエさん」	・サザエさんが生まれた時代を伝える(当時の写真を設置、教科書への掲載) ・未来を視野に入れた現在のまちづくり(サザエさんゴミ箱を設置など) ・環境先進ストリートを目指した取組(四季を感じる花壇、定期的なイベント)
「交」	にぎやかさが継続する色とりどりのサザエさん通り	・通りを知ってもらい(広報・清掃活動・お店の利便性向上(営業時間)) ・コーナー・グッズ(サザエさんコーナーを散在させる) ・憩いの場の設置(ベンチ設置、サザエさんの標語を通りに設置) ・イベント・祭(記念日をつくり、祭を行う。内容を更新し、継続するイベント)

13-2. 「サザエさん通り」まちづくりワークショップ(一般)まとめ

にぎわいをまち全体へ
面的にひろげるまちづくり

(10月16日(水)実施 20代~80代 40名参加)

●一般ワークショップから出た主な意見(括弧内は関連・類似した意見数)

ソフト
にぎわいを
継続し
ひろげる

- 通りから離れている周辺校区を巻き込んだ活動が必要。(早良区全体で行う早良マンスなど)
- 2016年に周年行事が集中(西南学院100周年、サザエさん誕生70周年等)、イベントを盛大に行う。
- バスや同時多発イベントでサザエさん通りを軸として回遊性を高める。(商店街や地域資源を生かして)
- 朝市、物産市を継続的に行う。
- ・地域の祭りやイベントにサザエさん一家が参加(8)
- ・海関連のイベント：海産物市・砂の彫刻・スケッチ大会・生物調査・宝探し(7)
- ・ウォークラリー・スタンブラリーなど歩いて地域を知るイベント(7)
- ・海産物等の名物メニュー考案・グルメ大会(4)
- ・コンクール・コンテスト：サザエさん川柳、サザエさん検定、似顔絵、歌振り付け(4)
- ・その他イベント：市民サザエさん展、季節のテーマイベント、桜まつり他(8)
- ・日常の活動：清掃活動、花いっぱい運動、あいさつ運動、マナー教室他(12)

ハード
誰にも分かる
シンボル
つくる

- サザエさん通りの認知度を高めるための整備が必要(アーチや銅像、サイン、街灯、ベンチなど)。
- 多世代・多国籍の人達に伝わる広報・サイン(多言語表記等)
- 始点、終点、曲がり角の広場を整備し、シンボル化する。
- 通りの空きスペースを活用した広場(長谷川町子の旧住居跡地をイベント広場に)など。

- ・サザエさん一家のモニュメント・銅像(15)
- ・始点、終点、曲がり角等のサイン、案内板(10)
- ・歩道の整備(カラー舗装等)(8)
- ・信号機音声誘導などにサザエさんの音楽を使う(7)
- ・ストリートファニチャーの整備(サザエさんと座れるベンチ、街路灯、マンホール蓋等にキャラクター)(4)
- ・サザエさん文庫、マンガ館(4)
- ・サザエさん考案当時の写真等を用いたサイン・モニュメント(3)
- ・長谷川町子氏住居の再現・長谷川町子美術館(3)
- ・その他ハード整備：イベント会場、映画館(2)

広報その他
認知度を
高める

- サザエさん通りと周辺のマップをつくる。
- 公民館だよりなどにキャラクターを使用。
- 今あるグッズを活用し、印象づける。
- iPad等を活用したバーチャル地域案内(福岡城のような)
- ・サザエさんイラスト・グッズ展開：公民館だより、缶バッジ、フラッグ等(13)
- ・通りPR：早良マンス、タワーイルミネーション、SNS、サザエさんレンタサイクル、通りネーミング等(10)
- ・通りマップ：サザエさんが案内するマップ、四カ国語表記(3)
- ・ヤフオクドームへの展示コーナー、ホークス試合での着ぐるみ使用(2)
- ・サザエさん饅頭(2)

●一般ワークショップ意見のまとめ

時期 グループ	短期(今~3年) すぐにやりたい	中期(4~6年) 少し準備してやりたい	長期(6年~) しっかり準備してやりたい
遊ぶ1	イベント グッズ 資金づくりに募金	重要なところから ハード整備開始	ハード整備 継続
遊ぶ2	グッズ	周年事業×イベントを立ち上げ 2016年サザエさん70歳 西南学院100周年目標に!	ハード整備 助け合い・回遊性 ×海(イイトー)ン ×高取境・紅葉八幡宮(バス通)ドロー ×西南学院周辺(文化ゾーン)
学ぶ1	イベント PR・コンクール 商店街と連携	他世代・多国籍間 交流	ハード整備 多言語案内マップ・広報 継続
学ぶ2	清掃・挨拶運動 PR活動 ハード整備	継続	サザエさん通りツアー 継続
交わる1	イベント グッズ すぐに開始可能!	ハード整備 みんなで手を取り合って	地域同時多発サザエさんイベント 回遊性
交わる2	イベント PR・グッズ 子どもから高齢者まで 楽しめる	ハード整備 通りの始点・終点を中心に	早良マンス 早良で 継続 バスで繋ぐ サザエさんPR 回遊性
まず認知度を上げる		ハード整備を進める	回遊性高め、 まち全体の魅力につなげる